

**充実のオプションで多様な測定用途に対応する
コンパクト型ガス分析システム“Cシリーズ”を新発売**

キャノンアネルバ(社長：酒井純朗 本社：神奈川県川崎市麻生区栗木2-5-1)は、コンパクト型ガス分析システム“Cシリーズ”を新たに発売しましたのでお知らせします。



コンパクト型ガス分析システム“Cシリーズ”

コンパクト型ガス分析システム“Cシリーズ”はガス分析システムのエントリーモデルです。基本構成とオプションの組み合わせにより、多様な測定用途に対応します。

■コンパクトで使いやすいエントリーモデル

基本構成となる分析管、コントローラー、排気系、ガス導入系をコンパクトで軽量のフレームに搭載し、操作、メンテナンス、移動、設置などが容易に行える、「使いやすさ」を徹底的に追求したガス分析システムのエントリーモデルです。

■充実のオプションで多様な測定用途に対応

分析管は7タイプから、排気系は2タイプから、ガス導入系は4タイプから選択可能です。これらを自由に組み合わせることで、真空装置のプロセスガスモニターや残留ガス測定/加熱炉ガスモニターや熱天秤ガス分析、昇温脱離ガス分析、乾燥炉ガスモニターなどの研究開発用ガス分析/触媒反応ガス分析などの各種材料開発といった用途に対応します。

これらの基本構成部品の他、ベーキングヒーターや真空計などのオプションを追加することで、測定用途に合わせてより細かなカスタマイズが可能です。

製品名	標準価格(税別)	発売時期	目標販売台数
コンパクト型ガス分析システム “Cシリーズ”	230万円～	2012年10月	50台/年

- 報道関係者のお問い合わせ先：キャノンアネルバ株式会社 総合企画部 総合企画課 044-980-5121
- その他の方のお問い合わせ先：キャノンアネルバ株式会社 営業センター 営業第一部 044-980-3503
- キャノンアネルバ ホームページ：<http://www.canon-anelva.co.jp/>

<コンパクト型ガス分析システム“Cシリーズ”の主な特長>

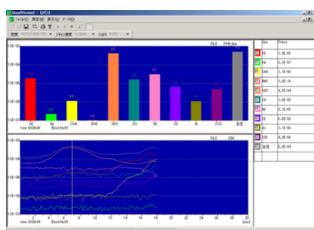
1. コンパクトで使いやすいガス分析システムのエントリーモデル

- ・分析管、コントローラー、排気系(ターボ分子ポンプ+粗引きポンプ)、ガス導入系をコンパクトで軽量のフレームに搭載し、「使いやすさ」を追求したガス分析システム。
- ・フットプリント約 480mm×500mm で省スペース。
- ・シンプルな構成のため、メンテナンス時などの機器の設置、取り外しが容易。
- ・ターボ分子ポンプの高さ調整が可能(約 800mm～1029mm)。
- ・軽量のアルミフレームにφ75 大型キャスターを採用し移動が容易。



φ75 大型キャスター

- ・スイッチ一つで排気制御が可能。排気/測定用インターロック機能を搭載。
- ・マスフィルタ使用未経験ユーザでも容易に操作可能な専用ソフトウェア「QUADVISION」を標準添付。日本語/英語に対応。



専用ソフトウェア「QUADVISION」

2. 充実のオプションで多様な測定用途に対応

- ・分析管には四重極型質量分析計を採用。測定可能な質量数範囲 1～70/1～100(標準/高感度)/1～200(高感度)の分析管と、フィラメントとの組み合わせにより計 7 パターンから選択可能。
- ・粗引きポンプはロータリーポンプ/ドライポンプの 2 種類から選択可能。
- ・ガス導入系はサンプル部の導入圧力により 10 種類から選択可能。大気圧導入タイプもラインナップ。
- ・配管へのガス吸着防止用のベーキングヒーター、システム圧力確認用の真空計、PC テーブルなどのオプションを追加することで、システムのグレードアップが可能。



真空計、およびノートPC 設置例

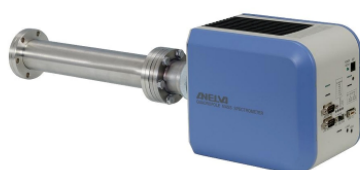
【構成の一例】

- ・昇温脱離ガス分析においてサンプル圧力が大気圧、ガス種が大気成分(還元性ガス無し)の場合
 - 分析管 : 測定質量数範囲 = 1～200 (イットリアフィラメント仕様)
 - 粗引きポンプ : ロータリーポンプ
 - ガス導入系 : 大気圧導入対応タイプ

＜四重極型質量分析計について＞

四重極型質量分析計とは、測定するガス分子をイオン化して、時間変化する電界によって質量別に分離し、電流値信号として検出する分析計です。高感度なリアルタイム測定が可能な点が特長で、各種電子デバイス製造装置における真空プロセス中のガスモニタ、各種ガス分析装置などに広く使用されています。

「コンパクト型ガス分析システム“Cシリーズ”」には、キヤノンアネルバ製の「トランスデューサ型質量分析計“TDMS(ティーディーマス)シリーズ”」を採用しています。高感度・高機能で低ガス放出を実現したPC制御専用の四重極型質量分析計で、発売以来様々な産業、研究機関などで多数の納入実績を有しています。また、同分析計は分析管とコントローラ部が一体化したトランスデューサ型のため、電源据置き型と比較して省エネルギーで、配線も少なく、省スペースでの運用が可能であり、装置への取付けも容易に行えます。



トランスデューサ型マスフィルタ“TDMS シリーズ”

＜ガス分析装置の市場動向＞

2011年の四重極型質量分析計を使用した小型ガス分析システムの市場規模は、国内で約260台でした。今後も、同タイプのガス分析システムに対するニーズは堅調に推移し、2012年以降も対前年比で数%レベルの市場成長が継続すると予想しています。(キヤノンアネルバ調べ)

＜キヤノンアネルバについて＞

キヤノンアネルバはキヤノン株式会社の100%子会社であり、真空技術を基幹技術とした真空薄膜形成装置や真空部品の開発・製造・販売を行なっています。真空薄膜形成装置の中でもスパッタリング方式の装置を多くラインナップし、ハードディスクの磁気ヘッドおよび磁気ディスク製造用スパッタリング装置では世界トップシェアを有しています。そして、関連技術において「内閣総理大臣賞(産学官連携功労者表彰)」「井上春成賞」「市村産業賞・貢献賞」などの受賞歴があります。また、最近ではスマートフォン市場向けの各種高性能デバイス製造ラインに多数の製造装置を提供し、スマートフォンの普及・モバイルシーンの拡大に寄与しています。2011年度売上高は364億円。